

# 営農情報

## ☆イチゴ

(担当：山下)



### ○施肥管理

・止め葉(1枚葉)が健全であるか果房の収穫が終わるまで、注意して見て下さい。

・止め葉に紫色が発生する時は、根が痛んでいるので、森羅(500g入)10a当り150gを、10日間隔で、灌水チューブを利用して入れて下さい。

・灌水管理  
12月は、PF1.8基本に、毎日少量灌水して下さい。

○温度管理  
・夜間の加温最低温度は、12月中旬までは6〜8℃、12月中旬以降は7〜10℃です。朝方12℃、午前中25〜28℃、午後22〜24℃、夕方15〜18℃にして下さい。  
(なお、高設栽培は高い方で管理して下さい。)

○電照管理  
・12月は、生育を見て最高3〜4時間点灯して下さい。

・無電照栽培は厳寒期にわい化するために、12月下旬から10日間隔でジベレリン3〜5ppmの芯芽処理をしましょう。

○親株管理  
・排水良好で梅雨期に浸水のない圃場を選び、10a当り300株を植え、2月末から3月上旬にプランター・大型ポットへ移植して下さい。

○玉だし  
・クラウン部に光線が入るようにし、地温確保に努めて下さい。

・葉が被さるとオレンジ色になります。玉だし作業をすることで、着色不良を防止して下さい。

○受粉の確認  
・冬場の花粉発芽能力は約4日間程度です。日々ミツバチが活動しているかを確認して下さい。

○防除管理  
・うどん粉病  
ルビゲン400倍  
アミスター20フロアブル1500〜2000倍  
・ハダニ  
マイトコーネフロアブル1000倍とアーデント1000倍混用  
ピラニカEW2000倍とバロックフロアブル2000倍混用  
ダニサラバ1000倍

☆白ネギ  
(担当：加治佐)

○出荷方法  
・葉は、被害葉・枯れ葉を除き3枚残してむきます。

・58cmに届かない幼葉は1枚とみません。

・継続出荷をお願いします。

## ◎園芸関係◎

☆リナンキュラス  
(担当：加治佐)

12月より徐々に窒素・リン酸・カリの養分吸収量が上がってきました。追肥をお願いします。

・できるだけ涼しくし低温管理をお願いします。気温を下げすぎると光合成能力の低下・地温が下がり、根の活力が低下し生育が停滞します。目安として昼温20℃以下、夜温最低5℃以上を保って下さい。

☆キンカン  
(担当：山下)

○水管理  
・果実肥大を促進する為12月上旬までたっぷり灌水を行って下さい。  
(常に土が湿った状態)

・土壌の乾燥防止、細根の発生促進の為、敷きワラを行って下さい。

○秋冬期加温  
・着花が遅れた園(7月20日以降に着花)については、秋冬期に加温することで、肥大促進、減酸促進効果が得られます。

実施時期 12月中旬まで  
実施温度 夜温18〜20℃  
昼温 27〜28℃

・着色が始まっても、12月中旬までには加温します。

☆栗  
(担当：山下)

栗の剪定と元肥の施与時期に入りました。12月中には堆肥を施して下さい。堆肥投入の時期を来年3月以降に施すと、実タンソ病の発生が多く予想されますので早めに行ってください。

剪定は光が枝に当たるように、込み合う枝や影を作る枝、主枝、垂主枝を決定し、枝の向き、高さを考え剪定を行って下さい。

☆ゴーヤー  
(担当：中村)

平成25年度向けのゴーヤー栽培の申し込みをされる方は12月20日までに農産園芸課(☎333-5756)までご連絡をお願いします。ハウス抑制栽培(3月上旬〜4月定植、5月上旬〜8月収穫)と露地栽培(4月20日〜6月上旬作付、7月〜9月下旬収穫)です。希望される方は、土壌分析と個人の作付計画を行いますのでお早めに連絡をお願いします。

販売先の価格も安定していますので、ぜひ取り組みをお願いします。

☆加工人参・秋作加工大根  
(担当：柗山)

加工人参の出荷時期になりました。異物の混入がないよう出荷をお願いします。

☆加工ホウレン草

(担当…中村)



降雨によりべト病の発生が見られます。病害虫が発生しないよう注意して管理に努めて下さい。成長が緩慢な場合は生育促進のためバイトール2号を500倍で葉面散布を行って下さい。アブラムシの発生も見られますので、圃場の管理に注意しましょう。

☆生姜

(担当…山下)



来年作の圃場準備を進め、日当たりや排水が良く保水性の良い圃場を選定して下さい。連作すると根茎腐敗病などの病害の発生率が高くなりますので、連作しないようにして下さい。12月までに堆肥を5t程度施し、来作に向けた圃場準備を行しましょう。

☆菊

(担当…加治佐)



1. 神馬2号の温度管理  
①定植から開花まで実温14℃で管理しましょう。  
消灯日から収穫始めまでの到花

日数は再電照を除いて45〜47日程度です。

②花芽分化温度は18℃で行うと品質が良くなります。

③低温管理でも開花遅延しにくいですが、生育期に10℃以下の低温にあうと開花遅延する危険性あるため注意しましょう。

2. 再電照について

①「神馬2号」は従来の「神馬」より花芽分化速度が1〜2日程度早いです。特に本年度は高温の影響で、早くなっているため検鏡を行いましょう。

②1月から2月出荷作型では再電照を行いましょう。

・4日点灯〜4日消灯〜3日点灯

※燃油価格高騰が続いています。ハウスビニールの隙間がないか点検を行い、北側については古ビニール等を張り保温に努めて下さい。

☆ピーマン

(担当…中村)



ピーマンも終盤になりました。25年度に向けた作付準備のために、ピーマンの枝葉等の残渣の片付けを急いで行って下さい。黒枯病や菌核病の発生した圃場は必ず残渣を圃場外に持ち出して下さい。

25年度は2月下旬〜3月5日頃までの定植を目指して、苗の注文をお願いします。  
また、圃場の土壤消毒や定植2

週間前までに、圃場準備が終了するように作業の計画を立てて、土壌分析による適正な施肥を行いましょう。

☆デルフィニウム

(担当…加治佐)

気温が高い状態が続いていますのでハウスの換気に努めて下さい。また、カルシウム欠乏予防のためカルシウム剤の散布を定期的に行なって下さい。

☆キャベツ

(担当…柘山)



収穫が始まりました。生育のムラが見られるますので、大きなキャベツから収穫を行って下さい。病害虫の防除などは収穫予定日から逆算をして散布をお願いします。

◎プレバソフフロアブル

・200倍液で10aに100〜300ℓ

・収穫3日前3回以内

◎フェニックス顆粒水和

・200〜400倍液

・収穫前日3回以内

☆里芋

(担当…橋爪)



種子里芋を貯蔵される方は、降雪があった場合には、腐敗の原因になりますので速やかに払い落として下さい。

☆タマネギ

(担当…加治佐)

定植作業が済んだら、風でマルチが浮き上がらないようにマルチの上に盛土などをして、マルチが浮き上がらないように気をつけましょう。

カラス対策も忘れずに行なって下さい。

定植後には、植え穴から草が生えてきますので、しっかり草を引き抜いて下さい。

☆家庭菜園

(担当…中村)

急激な寒さで霜害の発生が心配されます。霜害を受けやすい野菜などは、トンネルなどを施して霜に合わないように注意して下さい。土壤消毒や堆肥の散布などの次年度の栽培準備もお願いします。

農業用廃プラスチックを排出される農家の方へ

平成24年10月から12月までの3ヶ月間、農業用廃プラスチックの排出促進の取組みとして、県の廃プラ協議会より処理料の一部が助成されます。

	通常処理料	対象期間処理料
塩化ビニール	6.3円/kg	5.3円/kg

- ◎塩化ビニール(ハウス用ビニール等)
- ・集積場所 えびの市一般廃棄物最終処分場
- ・集積日 12月18日